

抑制廃止とケアの質を高める会 参加者のみなさまへ

平成30年8月末日

抑制廃止とケアの質を高める会 会長 福本京子

8月定例会でお知らせしました Q1Q2 のご紹介です。次回(11月6日)の定例会では Q1Q2 について A を導くための GW を実施します。Q1 は認知症ケア①② 教育②③に所属する方々に、Q2 は認知症ケア③④ 教育①に所属する方に担当していただき、各施設での現状や実践の工夫、悩んでいることなど、A①②③についてとりまとめていただくように考えています。次回開催日までにはたっぷり時間がありますので、自施設での現状やお薦めの秘訣、足りない点など、多くの意見を持ち寄り、いつも以上の効果的な GW で、すっきりした気持ちになれることを期待しています。よろしくお祈りします。

Q1：病棟抑制ラウンドにより、数名の抑制解除につながりました。入院生活への危険性のリスクを考える事も大切だと思いますが、人としての尊重への意識を高めれば、抑制廃止へつながると思いました。他の施設では、抑制廃止に向けてどのような事を実施しているのか聞いてみたいです。

A ①自施設において、抑制廃止における理念の共有、職員の意識づけについて工夫していること。

②委員会活動における実践内容や得られる効果、継続するための秘訣など。

③その他

Q2：センサーマットがグレーゾーンのため、スタッフの抑制意識が薄い。スタッフへ理解してもらうにはどうして伝えていったら良いか教えてほしい。

A ①自施設におけるセンサーマットに関する基本的な考え方や使用目的・方法について。

②スタッフの理解を深めるための工夫など。

③その他